

1. 概要

(1) 6月8日, 上海において, 第3回北極に関する日中韓ハイレベル対話が開催。日本から山本栄二北極担当大使, 中国から高風(こう・ふう)外交部北極担当特別代表, 韓国から康禎植(かん・じょんしく)外交部北極担当大使とはじめとする関係省庁及び研究機関の代表が出席。

(2) 本会合では, 3か国の政府代表からそれぞれの北極政策, また研究機関関係者から科学研究における日中韓協力の現状に関する説明が行われ, 今後の北極に関する日中韓協力の可能性について活発な議論が行われた。山本大使からは, 法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の重要性を強調しつつ, 本年5月に閣議決定した第3期海洋基本計画における北極政策の方針を紹介し, 科学研究を強みとして我が国の北極に係る取組が着実に進展している旨述べた。

(3) 韓国の提案により, 第4回会合を2019年に韓国が主催することとなった。

(4) 本会合において, 共同声明を発出。

2. 共同声明のポイント

(1) 第7回日中韓サミット共同宣言で支持されたとおり, 北極に関する3か国協力(特に科学研究の分野)を促進する重要性を再確認。

(2) 国際社会が, ルールを基礎とした方法で北極に係る平和, 安定及び建設的な協力を維持する重要性を再確認。

(3) 中国の北極政策白書及び日本の第3期海洋基本計画を歓迎。韓国が第2次北極政策基本計画を発表予定であることにつき期待を寄せて留意。

【参考】北極に関する日中韓ハイレベル対話

2015年11月に開催された日中韓サミットの機会に発出された「北東アジアにおける平和と協力のための共同宣言」において, 韓国側の提案により立ち上げられたもの。北極問題の地球規模での重要性に鑑み, 日中韓協力の可能性を追求すること等を目的とする。3か国の北極担当大使級が代表を務め, 関連研究機関の関係者も参加するトラック1. 5の会合。

第1回会合は2016年にソウルで, 第2回会合は2017年に東京で開催。

